



# 図書館だより

学校図書員 弘光しのぶ

志木市立志木第二中学校図書館だより 2024年10月号



10月27日から11月9日は『読書週間』です。

志木二中学校図書館の4月から9月の貸出し冊数は約 3,800 冊です。

電子メディアの発達によって世界の情報伝達の流れは大きく変わろうとしています。

しかし、「読書」が人間性を育てかたちづくるのに重要な役割を果たすことには変わりはないと

も言われています。NHK 大河ドラマ「光る君へ」で、中宮・彰子が源氏物語を読むことで

内面的に成長する姿が描かれました。読書が人間性を育てることを脚本家の大石静さんは伝えてくれたのだと思います。

2024年 第78回 ポスター

イラスト：熊 梨江 デザイン：間中幸子(クウ) 標語：中山実穂

## 新着本の紹介



日本十進分類法に基づいて紹介します

今年度は通常の蔵書予算のほかに「まちづくりサポート基金」の予算もあり、調べ学習のための本もたくさん届いています。93冊の新着本がありますが、一部を紹介します。

- 0 総記『AIの時代を生きる』『「リスク」を知って、「自分」を守る1スマホマインドの育て方 1~3』
- 1 哲学『「国境なき医師団」の僕が世界一過酷な場所で見つけた命の次に大事なこと』  
『漫画で読む般若心経』『問いの立て方』
- 2 歴史『流れが見えてくる日本史図鑑』『世界時空の歴史大図鑑』『イースター島不可思議大全』
- 3 社会『人口減少で日本はどうなる?』『「多様性」ってどんなこと? 1~4』  
『中高生のための「探求学習」入門』『集団に流されず個人として生きるには』
- 4 自然『理系の職場 1~8』『動物たちは何をしゃべっているのか?』『レッドリスト・プラネット』  
『クマゼミから温暖化を考える』
- 5 技術『持続可能なまちづくり 1~6』『理科の力で考えよう! わたしたちの地球環境 1~3』
- 6 産業『どうなるの?未来の食べもの 1~3』
- 7 芸術『モナ・リザとレオナルド・ダヴィンチ名画のひみつ』
- 9 文学『もののけdiary』『5分後に不気味なラスト』『ジャンル特化型ホラーの扉』  
『さよならごはんを明日も君と』『レーエンデ国物語 1~4』『レーエンデの歩き方』  
『名探偵のままできて』『ちょっぴりながもちするそうです』『地雷グリコ』  
『盲目的な恋と友情』『妖花魔草物語』

